

# 訪れたいまち

## 長野県上田市



# 時空を超えて — 真田二代の郷 —

長野県の東部に位置する上田市は、市の中心部を東西に千曲川が流れ、北は菅平高原、南は美ヶ原高原と、四方を美しき山々に囲まれた自然豊かな地域である。全国有数の晴天率と昼夜、冬夏の寒暑の差をいかにし、水稲、果樹、野菜の栽培が、また、かつての蚕糸業技術を受け継ぎ、精密電気機器などの製造業が盛んな、人口約16万人の地方都市である。

### 市民の想いが全国に

そんな上田に平成26年5月ビッグニュースがもたらされた。平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送決定である。群雄割拠の戦国末期から天下統一への時流にあつて、異彩を放つ漢「真田信繁（通称・幸村）」と彼をとりまく人々の波瀾万丈の物語である。

実は、この放送決定をひととき感慨深く聞いた方がいる。「日本一の兵真田幸村公 放映の実現を願う会」侍大将の中村さんである。願う会では幸村を大河ドラマに取りあげてもらおうと、平成21年12月署名活動を開始した

のだ。「最初はね、私の知り合い6人と何か上田が元気になることをしたいなあ」とほんの遊び心で始めたの。目標は真田氏の家紋「六文銭」にちなみ、66万6666人。これも遊び心だよ。町々の自治会を通じて、一軒一軒お願いした。そうしたら2カ月で5万くらい集まった。そうしたら、知らず知らずのうちに、市役所や商工会議所も協力してくれるようになったの。もちろん、署名活動が真田丸放送を決定させたなんて思っていない。故郷上田に対する想いは人それぞれ別々であつていい。でも、幸村を大河に！という「ひとつの夢」を市民みんなで共有することができたと感じた。うれしかったね」



願う会 侍大将  
中村さん

ひげがダンディーな  
上田大好きおじさん

署名活動はその後も広がりを見せ、最終集計（平成26年5月12日）では、全都道府県、海外からも含め、なんと83万9069人も署名が寄せられたのである。

### 得意分野で“おもてなし”

放送決定を受け、大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会が発足した。これは、上田市役所をはじめ、商工会議所、各事業者、市民で組織され、上田市を訪れてくれるであろう多くのお客さまが、上田市を好きになって帰って

いただけるように、それぞれの得意分野で“おもてなし”準備を推進しようとするものである。

上田市役所の青木さんは言う。「駐車場の整備、トイレの整備、案内看板の整備など、たくさんのお客さまを受け入れるためのハード部分（インフラ）は市役所におまかせを。ソフト部分（おもてなし）は民間事業者や市民の皆さまの創意工夫で。市民の皆さまを信頼しています。もちろん、市役所は積極的に側面支援いたします」

### 新しい歴史がつくられる

本取材の途中、真田氏の菩提寺である長谷寺を訪れた。幸村の祖父幸隆夫妻と父昌幸のお墓に手を合わせる。心と目を横に転じると新しい供養塔が。

「上田を訪れたお客さまから、幸村のお墓が上田にないことを残念がる声を聞いた有志の方が、幸村が大坂夏の陣後、討死したとされる大阪の安居神社の“土”を拝受して、祖父母、父が眠るここ長谷寺に“幸村公供養塔”を建立してくれたのです。郷土の先人を想い、また、この地へ来てくれたお客さまの想いも感じてくれる。市民自らの手で、また歴史がつくられていく。ありがたいことです」（青木さん）

「今、上田市が力を注いでいるもう一つの事業は、移住・定住促進事業です。市外の方たちに、この地に住んでいただきたいのが本音です。でも、まず

は、真田丸をきっかけに、たくさんの方に上田に来ていただく。上田の歴史、文化、風土、人となりを知っていただき、できれば上田ファンになって帰っていただけたらうれしいです」（上田市役所 伊藤さん）



上田市役所  
青木さん(右)と伊藤さん(左)  
全力で突っ走ります！

真田氏本城跡を訪れた。小高い山の頂、東西にゆるやかに広がる一帯には、もはや土塁や郭跡の一部を残すのみである。眼下には真田氏発祥の地“真田の郷”が青々と広がり、遠くは菅平、上田市街・上田城を望むことができ、この場所が当時戦略上の要衝であったことがわかる。

真夏の日差しに、一瞬「日本一の兵たち」が駆け抜けたような気がした。心地よい風が吹き抜けた。



▲右から昌幸、幸隆、幸隆夫人



▲真田幸村公供養塔

▼眼下に広がる真田の郷



▼菅平高原を望む



▲遠く上田市街を望む

## 筆者おすすめスポット

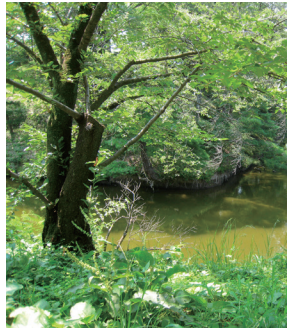


### 上田市池波正太郎 真田太平記館

作家・池波正太郎と小説「真田太平記」にまつわる遺愛品、書簡、自筆画などを展示。実際の歴史と小説を対比しながら見学するのも楽しい。「池波先生の貴重な資料、シアター、プロジェクションマッピング、カラクリ紙芝居など見どころ一杯！上田駅から路線バスで3分、100円でお越しいただけます。お待ちしております！」



館長  
たつの  
竜野さん



### うえだじょうせきこうえん 上田城跡公園

上田市民の憩いの場。真田昌幸により築城された。現存する櫓（やぐら）は、真田氏後の領主仙石（せんごく）氏によって整備されたもの。天守閣（てんしゅかく）はないが、櫓と石垣、お堀が当時をしのばせる。「昌幸の頃の上田城にも天守閣はなかったと言われていますが、私は密かに“あったんじゃないかなあ”と考えています（笑）」



上田市教育委員会  
わねざき  
和根崎さん



館長  
倉澤さん



### 上田市立博物館

上田城跡公園内にあり、古代中世から近・現代までの上田の歴史、文化を知ることができる。本丸のお堀から出土した金箔瓦（きんぱくがわら）も展示されている。写真左は真田幸村画像。「多くのお客さまをお迎えできること、うれしく思います。がんばります！」

## おしらせ

### 「信州上田真田丸大河ドラマ館」 平成28年1月17日オープン

ドラマのストーリーに合わせ、撮影で使用するセットや出演者が着用した衣装などを展示し、大河ドラマの魅力を紹介します。「真田丸」大河ドラマ館は、全国で唯一、長野県上田市に建設される予定です。

期間：平成28年1月17日～平成29年1月15日予定  
場所：上田城跡公園内（旧上田市民会館）  
時間：午前9時～午後5時  
入館料：有料

【問い合わせ】  
大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会事務局  
（上田市政策企画部シティプロモーション推進室）  
E-mail promotion@city.ueda.nagano.jp



まだまだ魅力がいっぱい。  
詳しくは、  
上田市ホームページまで。

<http://www.city.ueda.nagano.jp/>

## 上田市民 ソウルフード



### あんかけやきそば

極細ちぢれ麺に具だくさんの餡（あん）がよくからむ。食べたことがない独特の食感。くせになる味。からしをお酢で溶いて、かけて食べるのが上田流。



### 馬肉うどん

しっかりした味と食感の馬肉がどっさりのお肉ならでは肉うどん。競馬ファンもぜひご賞味あれ（謝）



### おい 美味だれ焼き鳥と 馬肉の刺身

信州上田のご当地だれ「美味だれ」ニンニクたっぷりの醤油味がくせになる。さあ、今夜も地酒で一杯だ～